

世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 ボリビア共和国 



【表紙の写真】

ボリビアの先住民インディオ
と伝統的手法の織物(左上)

ポトシの街並み
ポトシ市は標高 4,000 m にある。人が
住む都市としては、世界最高地点。
(右下)

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜボリビア共和国?

第1章 ボリビアってどんな国?

= アンデスの風とフォルクローレ
伝統と文化が織りなす自然の国 =

- 05 どれがボリビア? フォトギャラリー
- 07 ボリビアなんでもウソ・ホントクイズ
- 09 「食」にまつわるエトセトラ
- 11 ちょっとブレイク ボリビアの「魔女市場」

第2章 へえ～! ボリビアと日本

- 13 ボリビアと日本 似ているところ・違うところ
- 15 ボリビアと日本のつながり その1
～ボリビアに渡った最初の日本人移民～
- 16 ボリビアと日本のつながり その2
～コロニア・オキナワ～
- 18 参考資料 「コロニア・オキナワ物語」
- 19 ちょっとブレイク ボリビアの歴史

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

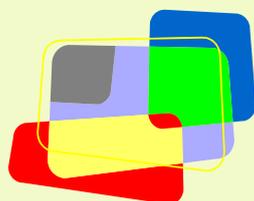
- 21 子どもの権利と児童労働
- 25 フェアトレードって知っていますか?
- 27 参考資料 ボリビアのカカオ生産者
「エルセイボ」の取り組み

第4章 そして未来へ

- 29 「多文化共生社会」ってどんな社会?
- 30 号外! 号外! 20年後の新聞です
- 31 多文化共生社会と地球的課題

参考資料

- 33 目で見るボリビア
- 35 ボリビア地図
- 36 参考文献・データ等の出典
- 36 ご協力いただいた方たち
- 36 2008年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

人の顔が見える教材をつくりたい！

「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～、こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としていますが、本書自体は、ファシリテーター(参加型プログラムの進行役)や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしてください。

きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、ボリビアのほんの一面です。本書だけでボリビアのすべてがわかるわけではありません。ボリビアに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせてどんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

カラーデータ・写真はダウンロードできます

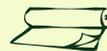
カラーデータ・写真については、(財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムでマジックを使います。



プログラムのねらいです。



プログラムで付箋を使います。



ちょっとブレイク一口コラムです。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



データ等の出典です。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



写真の撮影者です。



なぜボリビア共和国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国防レンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国(日本を除く)のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国防レンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけでなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国防レンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。

そして、ボリビア共和国のホームタウンは、東栄町でした。



イタリア共和国
オランダ王国
ベルギー王国
フランス共和国
ポルトガル共和国
モロッコ王国
社会主義リビアアラブ国
セネガル共和国
ベナン共和国
カメルーン共和国
ガボン共和国
アンゴラ共和国
南アフリカ共和国
ウズベキスタン共和国
ボスニア・ヘルツェゴビナ
タジキスタン共和国
キルギス共和国
モンゴル国
大韓民国
バキスタン・イスラム共和国
ラオス人民民主共和国
カンボジア王国
アゼルバイジャン共和国
イラン・イスラム共和国
サウジアラビア王国
エジプト・アラブ共和国
ケニア共和国
チャド共和国
タジキスタン共和国
キルギス共和国
モンゴル国
大韓民国
バキスタン・イスラム共和国
ラオス人民民主共和国
カンボジア王国
アゼルバイジャン共和国
イラン・イスラム共和国
サウジアラビア王国
エジプト・アラブ共和国
ケニア共和国
チャド共和国
フィジー諸島共和国
ニュージーランド
エルサルバドル共和国
バハマ共和国
ボリビア共和国
ドミニカ共和国

：本教材
：2008年度教材作成の国
：2007年度教材作成の国
：愛知万博公式参加国

愛知万博 / 中米共同館

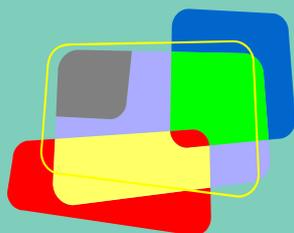


第1章

ボリビアってどんな国？

= アンデスの風とフォルクローレ

伝統と文化が織りなす自然の国 =



どれがボリビア？フォトギャラリー

① ボリビアと関係のないものはどれだ???





P.5のこたえと解説です。



自分の持っているボリビアという国のイメージはどれくらい実際に近いのかをふりかえる。

P.5の写真の中でボリビアと関係ないものは、4番の写真です。

① スクレ市庁舎

ボリビアには、憲法上の首都スクレ市と、事実上の首都ラパス市(チュキサカ県の中心都市)とがあります。写真の市庁舎はスクレ市のもので、この美しい街並みは、1991年、世界遺産(文化遺産)に登録されました。

② モトタクシー

バイクのタクシーです。トリニダ(ベニ県)では主な交通手段です。

③ エケコ人形

ラパス地域で行われるお祭「アラシータ」の主役がこの人形です。人の姿をしたお守りで、繁栄・幸運をもたらすと言われています。

④ 尺八

日本の伝統的な楽器。竹でできています。

⑤ リヤマ (ラマ・ジャマとも言う)

南アンデスの山岳地方に生息しているラクダ科の動物。
ボリビア・ペルーの山岳地方で古くから家畜として飼われています。
荷物の運搬用や、毛・皮を衣服として用いるのが一般的。儀式など特別な時には食べることもあります。

⑥ カントウータ

アンデス地域(山岳地方)の国花です。
平地地方の国花は「パトゥフ」という花です。

⑦ オキナワ豊年祭

日系ボリビア人のコミュニティ「コロニア・オキナワ」で開催される豊年祭です。

⑧ チチカカ湖

ボリビア西部・ペルー南部にまたがる淡水湖。アルティプラーノの北部に位置します。
1998年8月、ボリビア領域8000km² がラムサール条約登録地となりました。



ケーナ

ボリビア・ペルー発祥の縦笛。
竹などでできています。
(尺八と原理は同じ)
一般的なサイズ: **ケーナ**
小さいサイズ: **ケニージャ**
大きいサイズ: **ケナーチョ**



パトゥフ

コロニア・オキナワ: 1945年以降にボリビアに移住した沖縄県出身者が中心となって建設した開拓移住地(サンタクルス県)

ボリビア何でもウソ・ホントクイズ

① ボリビアってどんな国? クイズに答えてみよう。

① ボリビアの事実上の首都とされるラパスの標高は、3500m以上の位置にあります。そのため空気が薄く、空港には「酸素マスク」が常備されています。
*日本一高い富士山は3776mです。



② ボリビアには9つの県があります。日本における祝日は、日本全国共通なのが当たり前ですが、ボリビアのそれぞれの県には、その県だけの独自の祝日があります。



③ ボリビアの通貨単位は、以前は「ペソ」が使われていましたが、現在はその名もずばり「ボリビアーノ」と言います。



④ ボリビアにもサッカーチームはありますが、南米にはサッカー強豪チームが多いため、ボリビアはワールドカップに出場したことが1度もありません。



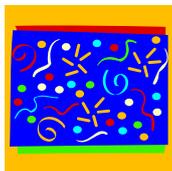
⑤ ボリビアの国旗の色は、信号機と同じ「赤・黄・緑」の3色でできています。その中の緑色は「森林資源」を表しています。



⑥ ボリビアには、生まれたての赤ちゃんをモデルにした人形のお守りがあり、繁栄や幸運をもたらすと言われています。



⑦ 「南米三大祭り」と言われているのは、リオのカーニバル、クスコのインティ・ライミ祭り、そして、ボリビアの「オル口のカーニバル」です。



⑧ ボリビアは内陸国で海はありません。そのため、ボリビアの軍隊は陸軍・空軍のみで、海軍はありません。



⑨ ボリビアを中心としたアンデス地方は、タバコ発祥の地と言われています。でも、当初は、現在のような嗜好品ではなく、占いに使われていました。





P.7のこたえと解説です。



ボリビアという国を多様な視点から理解する。

- 1 **ホント** ラパスの中心街の標高は約3600mと非常に高く、ラパス市内でも700mほど高低差があります。空気が希薄であり、タバコの火が消えたり、コーラが激しく泡立つなど高地特有の様々な現象が起きます。また、急な坂の多いまちなので、長く住んでいる人でも息が切れて苦痛を感じることがあります。空港には酸素マスクが常備されている。
- 2 **ホント** 9つの県すべてに、それぞれ独自の「県の日」があり、祝祭日となり、お祭りが開催されます。9つの県：オルコ、コチャバンバ、サンタクルス、タリハ、チュキサカ、バンド、ベニ、ポトシ、ラパス
- 3 **ホント** 現在のボリビアの通貨単位は「ボリビアーノ」が使用されています。従来は「ペソ」が使われていましたが、1985年にインフレ率8171%という驚異的な数値を記録し、1987年より「100万ペソを1ボリビアーノ」としました。1ボリビアーノ=14円くらい(2009/3/13現在)です。

*インフレ: お金の価値が下がること。

- 4 **×ウソ** ワールドカップに出場したことがあります。1994年のワールドカップアメリカ大会予選では、首都ラパスでのホームゲームで標高3600mの高地にあるという地の利を最大限に生かしブラジルやウルグアイをも破って4連勝したこともあります。
- 5 **ホント** 旗の3色はそれぞれ、赤は“愛”、黄は“黄金の稲穂”、緑は“森林”を、また中央の鳥は国鳥のコンドル、太陽は守護神、山は鉱物資源、動物は山岳動物類、木は熱帯資源、麦の束は農業を表現しています。ボリビアには、「市民旗」「政府旗」「国軍旗」の3種類の国民旗があります(2004年に、上院で議決)。市民旗は国旗そのもの、政府旗はその中央にボリビアの国章を描いたもの、国軍旗は中央の国章の左にオリーブの枝を、右に月桂樹の枝を丸くあしらったものと定められています。

市民旗(国旗)



国章



政府旗



国軍旗



- 6 **×ウソ** そのお守りは、数センチから数十センチの大きさで、エケコ人形とよばれていますが、赤ちゃんではなく、少し太った男性の姿をしています。頭にはインディオがよくかぶる耳まで覆うことのできる毛糸の帽子をかぶり、両手を広げ、チョビ髭のついた口を開けて笑っています。アイマラ族、ケチュア族の間では、福の神と信じられており、お祭の際に売られています。自分の欲しい物のミニチュア品をそのお守りに持たせ、タバコをくわえさせると、願いが叶う(欲しい物が手に入る)とされています。
- 7 **ホント** オルコで毎年2月末頃に行なわれるカーニバルは、リオデジャネイロのカーニバル、クスコのインティ・ライミ祭りと共に、南米三大祭りの一つと言われています。リオのカーニバルと比較すると、先住民の文化やスペイン植民地時代の記憶に基づく伝統的な踊りが多く、踊りや音楽の種類が多いのが特徴です。ユネスコによる2001年の「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」に取り上げられており、2009年9月に予定される初の世界無形遺産への登録が事実上確定しています。
- 8 **×ウソ** 海に面した国ではありませんが、海軍を持っています。建国当初のボリビアは、現在よりもはるかに広い領土を持っていました。しかし、チリ・ブラジル・パラグアイとの戦争に負け、領土の多くを割譲しました。かつては太平洋に面する領土を保有していましたが、チリとの戦い(太平洋戦争)に敗れ、海岸線を全て失いました。3月23日を「海の日(día del mar)」として「海を取り戻そうキャンペーン」をおこなっています。また、チチカカ湖で“海軍”の演習を行っています。
- 9 **ホント** 現在、世界中で最も多く栽培されているタバコ(学名:ニコティアナ・タバカム)は、アンデス山脈の東麓、ボリビアからアルゼンチン最北部にかけての地域に分布している種が先祖であると考えられています。当初は、現在のような嗜好品ではなく、火にくべて炎の動きや煙の形から戦いの勝敗、未来や吉凶を占うなど、儀式に欠かすことのできないものでした。また、病気は体に宿った悪霊のせいと、霊力を持つ呪術師がそれを追い払うことで回復すると考えられており、呪術的な治療にも利用されていました。

「食」にまつわるエトセトラ

② 肉天国!?ボリビア ~どんなものを食べているのかな?

① この写真は何でしょう?



② ボリビアの料理と解説です。合うものを結んでみましょう。

①



A アンティークーチョ

串焼き。一般的には牛の心臓

④



B フリカセ

豚肉または鶏肉を少し辛い
スープで煮込んだもの

⑤



C チッチャローン デ チャンチョ

豚肉を油で焼いたもの

⑥



②



D チョレジャーナ

トマト味のボリビア風牛丼

③



E アヒー・デ・ガジーナ

アヒーとは、辛いピーマンの形
をした食べ物。アヒー鶏煮込み
とご飯

F サルテーニャ

主に朝食で食べる総菜パンの
一種

G チョリーソ

腸詰めソーセージ





1 こたえは、ウユニ塩原（塩湖）の「塩の山」です。

ウユニ塩原は、ボリビア中央西部のアルティプラノにある塩の大地。四国の約半分の面積の広大な塩の固まりです。塩原（塩湖）があるアンデス山脈は、比較的短期間に海中から隆起して形成されたため、大量の海水がそのまま山の上に残されることになったのが、この塩原のもとです。

乾期（7月頃～10月頃）には塩原（塩湖）はほぼ乾いており、その上を自動車ですぐに走行できます。

塩原（塩湖）に斧で切れ目を入れ、数十cmないし1m程度の大きさのブロックに切り出し、運び出しています。

塩原（塩湖）の周囲に住む人たちは、塩を国内外に販売しています。日本でも手に入ります。

2 ① E ② A ③ C ④ D ⑤ B ⑥ F ⑦ G

A アンティークーチョ

串焼き。屋台や出店などで売られている。数cm角に切り分けた肉類を唐辛子、ニンニク、クミン、赤ワインなどで作ったタレに漬け込み、5-6個を金串や竹串に刺して焼く。最も一般的なのは牛のハツ（心臓）。

B フリカセ

ボリビアの代表的な肉料理。厚めに切った豚肉または鶏肉を炒め、タマネギ、ニンニクを加えた少し辛いスープで長時間煮込む。豚肉はボリビアでは高級食材なので、普段は鶏肉で作る。パーティーなどの特別なときのみ豚肉で「本格的な」フリカセが作られる。

C チッチャローン・デ・チャンチョ

豚肉を油で焼いたもの。

D チョレジャーナ

牛肉、タマネギ、ピーマン、トマトを炒めて作ったソースをご飯にのせるボリビア風牛丼

E アヒー・デ・ガジーナ

ペルーのアンデス地帯からボリビアのアンデス地帯で食べられています。アヒーは辛いピーマンの形をした食べ物というわけでアヒー・デ・ガジーナはアヒーを入れて煮込んだトリ料理。

F サルテーニャ

主に朝食に供される惣菜パンの一種。小麦粉で作った生地を牛肉や鶏肉を細切りにしたものなどの具材をくるみ、オーブンで焼いたもの。大きさは10cm前後で、形状は餃子に似ている。これ抜きにボリビア料理を語ることはできないほどポピュラーな料理。

G チョリーソ

ボリビアの各地で食べられる、腸詰。



～ボリビア人に欠かせない「コカの葉」と「コカ茶」～

コカは南アメリカ原産で、コカイン（局所麻酔薬、麻薬）の原料です。コカ自体には依存性や精神作用はありませんが、化学物質を使って生成されるコカインには、精神的な疲労を回復させる反面、精神毒性を示し、幻覚や妄想を生じたり攻撃性が増したりします。また薬物依存を形成して常習化することから、多くの国で麻薬として扱われ、使用・所持・販売が規制されています。

一方、南米（特にペルー・ボリビア）では、コカの葉は日常一般のお茶として飲まれています。コカの葉を干したものを数枚～数十枚に熱い湯を注ぎ、しばらく待ってから飲みます。砂糖を入れて飲むこともあり、ティー・バッグも売られています。





ちょっとブレイク

ボリビアの「魔女市場」



「魔女市場」と「呪術医」

ボリビアの首都ラパスには、ハーブなど精神に作用する効果がある素材や、乾燥させた動物などを売る、「魔女市場」があります。これらのハーブや乾燥させた動物は、医療や魔術・呪術などに使われるもので、医師や呪術医が物資を調達するために訪れます。呪術医とは、呪術や薬草などを使って、病気や怪我・または社会不安を取り除く民間療法の上での医師（医療行為を行う人）のことで、ボリビアでは「ヤティリス」と呼ばれています。

魔女市場でなくてはならない商品は、「乾燥させたリヤマの子ども」です。これは、事故から人を守り、仕事に幸運をもたらすための供物として、呪術や儀式には欠かせません。この他、儀式の供え物やお守りに使うものには、カエルやネズミや昆虫などがあります。



「魔女市場」と「リヤマ」

リヤマは、アンデス地方に多く住むラクダ科の動物です。ボリビアやペルーの山岳地方では古くから家畜として多く飼われており、荷物の運搬や毛や皮を衣類に用いたりしてきました。インカ帝国においては、重要な儀式の時「生け贄」として捧げられ、その名残からリヤマの胎児をミイラにしたものがラパス市などのアンデス地方の町で売られています。リヤマは、ボリビアの国章にも描かれています。



「魔女市場」と「民間信仰」

民間信仰とは、ある一定の地域に根ざす原始宗教ともいわれる信仰のことです。アンデス地方では、スペイン人の布教活動により、キリスト教が先住民の人々の間に浸透していききましたが、先住民の人たちは、もともと自分たちが持っていた信仰とキリスト教を様々な形で融合させていくことで、古くからの自分たちの信仰も持ち続けました。アンデス地方に今も残る民間信仰の中で特に伝統色が強いものには、農耕儀礼（農作物の豊饒を祈り、その折り目ごとに行われる祭祀儀礼のこと）や、繁殖儀礼（リヤマなどの家畜が繁殖し豊かに増えることを祈る祭祀儀礼）があります。

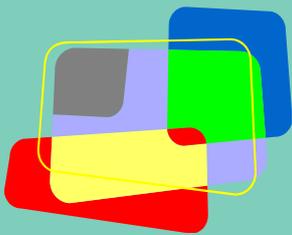


「儀式」と「魔女市場」

伝統的な儀礼には、「イリヤ」と呼ばれる石製のお守りや貝殻、乾燥させた植物、種、小型の土器や香炉など、さまざまな呪術用具が用いられます。また大地や山の精霊に対する儀礼の際には、そうした呪術用具の他に、乾燥したリヤマの胎児が捧げ物のひとつとして使われ、金箔や銀箔、またいろいろな色の毛糸で飾りつけてから、地中に埋めたり火にくべたりします。こうした儀礼は生命の継続や豊穰、家内安全をもたらすと考えられています。乾燥リヤマの代わりに、リヤマの形をした土偶を埋めることもよくあります。こうした呪術用具の他に、宗教的儀式に欠かせないものが、聖なる植物である「コカの葉」や「チチャ」と呼ばれるお酒です。これら儀式に必要なものを「魔女市場」で調達するのです。

 第2章

へえ～！ボリビアと日本



ボリビアと日本 似ているところ・違うところ

① ウソ・ホントクイズに答えてみよう!



① ボリビアには9つの県があります。その内の一つ、サンタクルス県の面積と日本の面積は、ほぼ同じである!



② 日本から遠く離れ、しかも富士山よりも高いところに町があるボリビアですが、まちの中を右ハンドルから左ハンドルに改造した日本の車が走っている!



③ ペルーとボリビアの両国にまたがるチチカカ湖の面積は、なんと琵琶湖の6倍もある!



④ え?日本人はトイレトーパーをトイレに流すの???ウソでしょ?ボリビアではトイレにペーパーは流してはいけません。これ常識!



⑤ 日本のアニメはいろんな国で放送され人気がありますが、ボリビアでも日本のアニメが放映されており、子どもたちを中心にとっても人気がある!



⑥ ボリビアの事実上の首都「ラパス」(法律上の首都は スクレ)の「ラパス」とは、日本語の訳で、「自由」という意味である!



⑦ 日本の学校では、平日は午前・午後共に授業があります。しかし、ボリビアの学校は、曜日を問わず、授業は午後だけです!



⑧ 海に面していない国ボリビアにとって、「水族館」は子どもたちの教育のために重要な場所。ボリビアには、9つある県に一つずつ「水族館」がある!



⑨ ボリビアは日本の裏側だから、日本では粉雪舞うクリスマスも、ボリビアでは、夏!!!





1 ホント

サンタクルスは、ラパスに次ぐボリビア第2の都市です。9つある県の中で、最大の面積(37万平方km)を有し、それはほぼ日本の面積に相当します。長い間手つかずの状態にあったところを、1952年のボリビア革命以降は開発の手が入り、特に70年以後は、石油・天然ガスなど地下資源の開発によって急速に発展し、米、砂糖、大豆、綿花、コーヒー、タバコなども大規模に生産されるようになりました。現在ではボリビアの商業の中心地となりつつあります。



サンタクルス

2 ホント

ボリビアには日本の車が走っています。ボリビアで日本中古車は人気があり、ボリビアの車の約7割は日本から輸入した中古車です。日本の幼稚園や企業で使われていたバスや車が、右ハンドルから左ハンドルへ改造されて使われています。ボリビアでは一般には車は右側通行です。しかし、ユンガスの道(ラパス市から北東方向にユンガス地方にのびている長さ80kmあまりの道路)を運転する際だけは、左側を通行しなければいけません。左側通行をしなければならない道路はボリビアではここだけで、「死の道路」とも呼ばれています。

3 ×ウソ

チチカカ湖は琵琶湖の6倍ではありません。チチカカ湖は、海拔約3,800mという富士山より高い場所にある淡水湖で、面積は約8,700㎡あり、それは琵琶湖の約12倍に相当します。また最高水深は280mに達します。チチカカ湖地域は気候が温暖で、ジャガイモやキヌア(穀物)、豆類などの栽培が行われています。周囲には森林がないため、木材資源を調達することができませんが、人々はチチカカ湖の水辺に生えるトトラと呼ばれるカヤツリグサ科の植物を用いて舟を作り、湖上を行き来しています。



チチカカ湖

4 ホント

水洗でないトイレには、紙を流してはいけません。ボリビアは水洗トイレが少なく、トイレトーパーを流してはいけないトイレが多くあります。トイレの個室には、ゴミ箱のようなものがついているので使用済みの紙はそこに捨てることになっています。ボリビアのトイレトーパーはピンク色など色の付いているものが一般的です。

5 ホント

日本のアニメはボリビアでも人気です。日本のアニメやドラマは、スペイン語に訳されて放映されています。アニメだけではなく、日本のキャラクター商品や電化製品は品質がよいと信用があります。カラオケも人気です。

6 ×ウソ

ラパスは、「自由」という意味ではありません。ラパス(La Paz)はスペイン語及びポルトガル語で「平和」という意味です。世界一高いところにある首都です。

7 ×ウソ

ボリビアの学校は日本の学校と同じ授業時間ではありません。ボリビアの学校は午前中だけか、午後だけかのどちらかです。放課後や午前中授業がない学生は、働いたり家の手伝いをしています。



ラパスの町

8 ×ウソ

ボリビア各県に、水族館はありません。ボリビアにある水族館は1つだけです。2007年にサンタクルスに動物園内の施設として開設されました。内陸国であるボリビアでは、初めての本格的な水族館で、150種、4000匹の水の生物が楽しめます。この水族館で展示、飼育される魚は、主としてボリビア国内の河川、湖沼で棲息するものです。1万ドルを投資して整備された水族館です。

9 ホント

ボリビアのクリスマスは夏です。ボリビアは日本の裏側、南半球にあるので季節が日本とは反対です。

ボリビアと日本のつながり その1

～ ボリビアに渡った最初の日本人移民 ～

① クイズと質問です!「一郎さん物語」を読み、みんなで考えてみましょう。

ボリビアに渡った最初の日本人移民、一郎さんの物語 (一郎さんは仮名です。)

1899(明治32)年、ペルーに向かう790人の日本人移民がいました。彼らは横浜港を「佐倉丸」に乗って出港しました。一郎さんはその中にいました。

790人の日本人移民は森岡商会という移民会社と契約を結んでおり、契約では「ペルーの甘蔗耕地か工場で4年間働く」ことになっていました。「報酬は一ヶ月2ポンド10シリング」です。

佐倉丸はペルーに入港。その翌日から移民を12箇所の耕地に送っていきました。そこで一郎さん達は生活を始めましたが、生活は厳しいものでした。言葉が通じず、お互いに対する知識が少ないためペルー人との間にたくさんのもめ事や対立が起こりました。とうとう逃亡する移民も出てきました。彼らは、アンデス山脈をなんとか越えて、ボリビアに向かいました。当時アマゾン地区は空前のゴムブームで仕事があり、景気が良かったのです。こうしたゴムブームの中にあつたボリビア国内のベニ県にこのときペルーから再移住した移民は91名。ボリビアへの最初の日本人移民です。一郎さんもその一人でした。

① 1899年って、今から何年前? 計算してみてください。

② 「甘蔗」とは、次のどれのことでしょう?

A ジャガイモ

B 砂糖

C 紅茶

③ 「2ポンド10シリング」とは、当時の日本円にするといくらだったでしょう?

A 25円

B 250円

C 2,500円

④ 「佐倉丸」は横浜港を出発してペルーのカリヤオ港に到着しました。当時、横浜からカリヤオ港まで、船で何日かかったでしょう。

A 7日

B 18日

C 35日

⑤ アンデス山脈の標高はどれくらいでしょう?

A 1500メートル以上

B 3000メートル以上

C 4000メートル以上

⑥ 皆さんがもしも一郎さんだったら???

移民をしてからの生活を想像し、次の二つについて考えてみましょう。

① 日々の生活の中で、どんなことに困るでしょうか?想像して具体的に挙げてみましょう。

② 自分が困っているとき、その国の人がどんな手助けをしてくれたら助かるでしょうか。

⑦ 一郎さんたちはその後どうなったと思いますか。お話の続きを考えてみましょう。

⑧ 日本からはペルーやボリビア以外にも、たくさんの方が移民をしています。どこに移民をしたか知っていますか。また、これらの人がなぜ移民をしたのか話し合ってみましょう。

➡ こたえと解説はP.17

ボリビアと日本のつながり その2 ～ コロニア・オキナワ ～

❓ ボリビアに根付く「オキナワ文化」とその背景を知り、ボリビアと日本のつながりを理解する。

コロニア・オキナワって何？

ボリビアには「コロニア・オキナワ(オキナワ村)」という地域があります。コロニア・オキナワはサンタクルス県にあり、第1移住地、第2移住地、第3移住地からなり、ボリビアでも模範的な農村として讃えられています。また、コロニア・オキナワは1998年にボリビア政府から行政区として認められています。コロニア・オキナワには現在も日系人(沖縄県系人)がたくさん住んでいます。彼らあるいは彼らの祖先は、沖縄からボリビアに向かった移民です。ですからコロニア・オキナワには、沖縄や日本の文化がたくさん生きています。

さて、質問です。次の「オキナワ(日本)文化」は今のコロニア・オキナワにもあるでしょうか。

- ① 「スーパーオキナワ」という店があり、日本の野菜や醤油、だし、うどんなど日本食品が売られている。
- ② ボリビアの言語はスペイン語だが、コロニア・オキナワにある学校では、日本とほぼ同じ教育を日本語で行っている。
- ③ コロニア・オキナワでは、第1移住地を「第1んちゅ」、第2移住地を「第2んちゅ」、第3移住地を「第3んちゅ」とよび、沖縄の方言がたくさん使われている。
- ④ コロニア・オキナワでは沖縄から最初に移住してきた人たちが作ったかやぶきの屋根の家が一般的となり、現在でもかやぶきの屋根の家の人々は住んでいる。シーサーがある家や赤瓦の家もある。

コロニア・オキナワはどんな風にできたの？

沖縄からたくさんの移民がボリビアに向かった背景には、太平洋戦争があります。太平洋戦争の時、ボリビアはアメリカ合衆国の圧力により、宣戦布告し日本との敵対関係に入りました。

太平洋戦争の時、ボリビアに住んでいた日本人の移民と、沖縄に住む人々にはどんなことが起こったのでしょうか。

- ⑤ 太平洋戦争の時、ボリビアに住む日本人移民にはどんなことが起こったと考えられますか。
- ⑥ 太平洋戦争の時、沖縄の人々にはどんなことが起こりましたか。
- ⑦ ボリビアに移住した日本人の中には沖縄出身の人がいました。戦後の彼らの活動が「コロニア・オキナワ」の誕生につながっています。彼らは何を思い、どんな活動をしたのでしょうか。みなさんが、彼らの立場だったらどうするでしょう。考えてみてください。



★P.15のこたえと解説

- ① 2009年の110年前です。
- ② **B** (甘蔗芋からとれるお砂糖です。)
- ③ **A**
- ④ **C** 現在は、ペルーまで飛行機で行くと、アメリカのロスアンゼルス経由で、ロスまで約10時間、そこからペルーのリマまで約9時間で、約20時間です。
- ⑤ **C** 日本で一番高い山は富士山3776メートルです。
- ⑥ 「もしも自分が一郎だったら…」みなさんはどのように想像したでしょう。現在日本にはたくさんの外国人が住んでいます。彼らも困っていることがたくさんあると考えられます。そんなときは手助けをしたいものです。
- ⑦ 最初の移民のほとんどは日本に引き揚げましたが、ペルーからボリビアに入る移民は続きました。
- ⑧ 米国本土に35,000人(1880年頃～1902年)、ハワイに30,000人(1885年～1894年) ペルーに20,000人(1899年～1923年)、ブラジルに190,000人(1929年～1935年)など。これらの人々が日本から移民した主な理由は、母国では良い仕事が無く、生活基盤を築くことが難しいので働く先を求めて移民する、という経済的な理由からでした。

★P.16のこたえと解説

- ① ○
スーパーオキナワはオキナワ農牧協同組合が運営しているスーパーです。サンタクルス市内にあって大きさは普通のコンビニの約2倍。日本食品だけでなく、沖縄産の食品なども豊富に揃っています。
- ② コロニア・オキナワにある二つの日系人学校は、スペイン語で色々な科目を教える西語校と日本語でいくつかの科目を教える日本語校が併設されている。学校では日本とボリビアの両方の素晴らしさを教えている。(下記「コロニア・オキナワの学校」参照)
- ③ ○
- ④ 1960年頃まではかやぶきの家だったが、現在はレンガとセメントでできた家に住んでいる。シーサーや赤瓦のある家は現在でもある。

コロニア・オキナワの学校

コロニア・オキナワには二つの学校があります。第一移住地の「オキナワ第一日ボ学校」と第二移住地にある「ヌエバ・エスペランサ日本語学校」です。オキナワ第一日ボ学校の教育方針には「日系ボリビア人としての誇りと教養を持って生きる、人間性豊かな人材の育成を目指す。」と、「日本語の学習を通して日本の文化にふれさせ、日本人の持つ良い資質を体得させる。」があります。

1月の最後に始業式があり、5月に1学期が終了しますが、2日後には2学期がスタートします。2学期は8月の終わりまでで、次の日に3学期が始まり、卒業式は11月です。それから来年度まで2ヶ月の休みがあります。日本と違い、学校が始まるのが早く、学期終了と学期の始まりがとても近いのが特徴です。その他は日本の学校と似ており、運動会や授業参観などもあります。休み時間にはバレーボールやバスケットなどを楽しみます。



「移民」という視点からボリビアと日本のつながりを知ろう！ 「コロニア・オキナワ物語」

日本からボリビアへの移民

日本からボリビアへの最初の移民は1899年に始まり、790人の日本人がペルーを経由してボリビアに入りました。日本からペルーへの移民は1920年まで続き、67回にわたる航海で1万5千人以上がペルーに渡りました。

ボリビアへの最初の移民の大部分はやがてボリビアを引き上げていきましたが、その後もゴム景気が続き、ペルーからの移民は後を絶たせませんでした。1918年にはボリビア国内の日本人移民の総数は800名を超え、そのうち約700名がベニ県リベラルタ周辺に居住していたと言われています。

こうした南米のゴム景気も東南アジアでゴム栽培が始められた影響から陰りを見せ始め、リベラルタに集まった日本人移民もボリビア国外に出たり、ボリビアの他の地域に転住するなどして、1923年には250人程度まで減りました。

ボリビアに移住した日本人のほとんどは単身者であったので、彼らはボリビア人と結ばれて各地に定住し、健全な家庭を作って商業活動などに従事し、生活基盤を築き、各地に日本人会も設立されました。1932年から35年までボリビア・パラグアイ間で勃発した「チャコ戦争」では、日本人会が率先して政府への献金を行うなど、日系人はボリビアにおける地歩を固めていきました。

1941年、太平洋戦争が勃発すると、ボリビアは、アメリカ合衆国の圧力により翌年宣戦布告し日本と敵対関係に入りました。その結果、日本人移民は経済活動を制限されたり資産を凍結されたり、また、アメリカ合衆国政府によりアメリカ本土に連行され拘留されることもありましたが、一般のボリビア市民は極めて友好的でした。

太平洋戦争末期、沖縄は日本で唯一の地上戦場となりました。多くの民間人が亡くなり、戦闘が行われたところは焼け野原、さらに日本は敗戦により1971年まで米軍による占領状態が続くことになりました。こうした沖縄の惨状に、誰よりも先に救援の手を差し伸べたのは自身も戦争中に苦難の時を過ごしたボリビアの日本人移住者でした。彼らの中には沖縄からの出身者がおり、彼らは母国への救援活動を目的として、協会を設立し、救援資金や物資を送り始めた。そして沖縄の戦災民に対してボリビアへの移民を呼びかけました。これが、「コロニア・オキナワ」の始まりです。

コロニア・オキナワ

琉球政府は、1954年に「南米ボリビア農業移民募集」を正式に開始しました。当時の沖縄は、戦争の爪痕に苦しむだけでなく、米軍基地建設のため主要耕作地が奪われ、農地が不足する状態にあったからです。移住地としては、サンタクルス近郊の土地が選ばれました。約4000人の応募者の中から選ばれた第一次移民275名は、沖縄を出航し、彼らのために選定された「うるま移住地」に入り、すぐに開拓を開始しました。しかし、全くの原生林の中にあつたこの土地は、井戸を掘るまで飲み水にも困るなど条件が悪く、病人が続出しました。これはのちに「うるま病」と名付けられた伝染病で、ボリビア国内の日本人だけでなく、ブラジルやアメリカ、ペルーなどからも援助の手がさしのべられましたが、結局大勢の死者がでました。移住者たちは、病気から逃れるため、「うるま」の地を放棄し、転住を開始しました。しかし次の転住地の開拓も成功せず、再度転住をしてようやくコロニア・オキナワの現在の地に落ち着きました。琉球政府の計画移民として沖縄からボリビアに入国した移民は、1969年の第19次移民者までで合計3231人です。これらの移住者には十分な広さの耕地は割り当てられず、半数以上はブラジルやアルゼンチンに転住していききました。

現在「コロニア・オキナワ」では、大豆を中心とした雑作を行い、それに畜産を組み合わせた機械化による大規模経営が行われています。特に大豆はボリビア最大の栽培面積を誇り、国内最大規模の飼料・搾油工場とサイロを稼働して、ボリビアの有望な輸出産物に成長しています。また、「コロニア・オキナワ」には第1次、第2次、第3次移住地があり、現在では沖縄県の農地面積をも凌ぐ6万ヘクタールもの農耕面積を有するまでに発展しています。2008年現在コロニア・オキナワには230世帯、約870人の沖縄県人が住んでいます。



コロニア・オキナワ



ちょっとブレイク ボリビアの歴史



インカ文明以前のティワナク文明

- ・ボリビアの先住民はモンゴル系の人種で、紀元前2000年ごろから高原地帯においてジャガイモやとうもろこしの栽培、リヤマの飼育を主とする農耕文化があったことが知られています。
- ・ボリビア・アンデスには、インカ文明以前にすでに高度な石造建築技術を誇るティワナク文明をはじめとする古代文明があり、インカ文明の興隆にともない、その勢力は広くボリビア・アンデス地域にも及ぶものでした。

征服の歴史と独立

- ・15世紀には、ペルー、スペイン、アルト・ペルー（現在のボリビア）に征服されました。
- ・政治権力の中枢が、征服者である少数の本国生まれのスペイン人に握られていることに対して、植民地生まれのスペイン人（クリオーリョ）の不満が高まってきました。
- ・こうした彼らの不満は、やがてスペイン本国から独立して自分たちの国を作ろうという動きとなり、1809年、独立運動が起こります。
- ・このときの運動はすぐに鎮圧されてしまいましたが、ベネズエラ、コロンビア、ペルーなどを独立させたシモン・ボリバルの軍隊により、長い植民地支配に幕が下ろされ、1825年8月6日にボリビア共和国として独立を果たします。国名は、スペイン植民地支配からの解放者であり、初代大統領となった、このシモン・ボリバル将軍にちなんでいます。

小さくなるボリビアの国土

- ・独立当時、約2,370,000平方キロメートルの国土を誇っていましたが、1866から1867年にチリ及びブラジルに330,000平方キロメートルを割譲、つづく1879年の南米太平洋戦争で、ペルー・ボリビア連合軍はチリに敗退し、太平洋岸の国土をチリに譲ったため、海を持たない内陸国となりました。
- ・1932年には隣国パラグアイとのチャコ戦争に敗れ、チャコ地方の240,000平方キロメートルを割譲しました。この戦争の原因は、チャコ地方の石油資源の争奪にありました。

社会主義とその限界

- ・国内政治も、相次ぐクーデターなどにより常に不安定な状態でした。特におびただしい数の死者を出したチャコ戦争の敗北の結果、国民のナショナリズムが高揚しました。
- ・そして1941年、政治変革を目指した民族主義的革命運動党（MNR）が結成されました。しかし、MNR政権が掲げた国民の消費水準を引き上げると同時に開発をも進めていくことを目指した社会主義路線は、やがて限界を迎えます。
- ・鉱山の国有化により生産は大幅に低下、さらに農地改革によって農業の停滞が引き起こされ、その結果ボリビア経済は深刻な事態になりました。

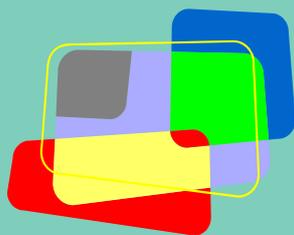
革命、軍政、そして民政へ！

- ・もはやMNR政権には、これ以上社会主義路線を進めていくだけの力はなく、ついに1964年、軍事クーデタが起こるとMNR政権は崩壊し、以後82年の民政移管まで軍事政権が続きました。
- ・1964年から82年まで、クーデタにより数ヶ月で大統領が変わるといった異常な事態が続き、政治的にも経済的にも壊滅的な危機的状況にありました。
- ・こうした状態に国民の不満も頂点に達し、文民政府を求める声が急速に強まり、軍事政権は1982年10月に退陣し、民政への移管が実施され民主的に政権の交替が行われ、この体制は現在も維持されています。



第3章

一緒に考えよう！こんな課題



子どもの権利と児童労働



『子どもの権利条約』って、知っていますか？



- ① 『子どもの権利条約』とは何か、調べてみましょう。
- ② P.23「子どもの権利条約チェック」にある様々な「人権」について、自分は守られているかどうかチェックしてみましょう。
*人権とは、安全に安心して生きることができることをはじめ、人として十分に生きるために誰にとっても共通に必要な権利
- ③ ボリビアは南米における経済的貧困国の一つであり、「児童労働=自分の意思ではなく働かされる」という問題を抱えています。
次の二つの事例を読んで、事例の中に出てくる子どもは、どんな権利が守られていないか、チェックしてみましょう。(P.23の「子どもの権利条約チェック」を使って)

事例1：「鉱山で働くラウル君11歳」

ボリビアの中央部にある町、ポトシ。ここでは16世紀以来450年以上にわたり、銀・亜鉛の鉱脈が開発されてきました。鉱山にはいくつもの抗道が通り、およそ3,000人の抗夫が働いています。鉱山で働く人々は坑道内にたちこめる粉塵によって、肺病を患い、若くして命を落とす人も少なくありません。ボリビア男性の平均寿命がおよそ60歳なのに対し、鉱夫の平均寿命は50歳に満たないとも言われています。そんな劣悪な環境の中、子どもの数も数多く見られます。

ラウル君は80キロ離れた故郷の村から、この鉱山に出稼ぎに来ています。母を亡くして以来、高齢で体力も衰え働けない父と、幼い妹の生活のために働いているのです。ラウル君が鉱山で稼ぐお金が、この一家の唯一の現金収入です。

ラウル君の仕事は、主に鉱物を含んだ石とそうでない石の選別をすることや、ダイナマイトで爆破された石の運搬などです。素手で一日中石をつかんでいる彼の手は、11歳とは思えないほど傷つき乾燥しています。標高4000メートルを超える高地では、空気は限りなく薄いのです。その空気の中で、暗く、粉塵の舞う抗道にもぐっての重労働。ラウル君の小さな体には大きな負担になります。しかしラウル君はどんなに辛くても彼は田舎の父と妹のことを思い、今日も働きます。

事例2：「サトウキビ産業と現代の奴隷制」

ボリビアでは約35,000人がサトウキビ産業に従事しており、ここに現代の奴隷制がみられます。国際反奴隷団体による2006年度ボリビアの奴隷制に関する報告書によれば、サトウキビを栽培するプランテーションで、9歳くらいの多くの子どもたちが、何の支援も受けられないまま働かされています。子どもたちは寒暖差の大きい気候と、清潔な水へのアクセスが困難な状況下で働き、頻繁に病気になったり、なたやサトウキビの葉でケガを負ったりしています。

ほとんどの場合、働いている子どもの親も奴隷労働者。仕事を斡旋した仲介業者から事前に現金や物品を受け取り、その代わりにプランテーションでの過酷な労働を強いられます。働いても報酬は現金ではないため、食料や生活用品を賄うためにさらに借金を重ねなくてはなりません。この悪循環によって、借金から解放されることなくプランテーションに縛られ続ける労働者が生まれてきました。

(バミューダThe Royal Gazette紙の記事より)

- 4 世界中に児童労働者と呼ばれる子どもたちは2億1800万人(2006年 ILOの調査による)います。なぜ子どもが働かなくてはいけないのか、以下の記事を読んで、グループで話しあってみましょう。

ボリビアの児童労働の実態は、スパイラル化している。

サンタクルスに住むモイセス・ベラスケスさん(14)は早朝から働いている。両親と兄弟5人を養うため、市場への荷運びをしているのだ。この仕事を始めてすでに5年、一日あたりの稼ぎは20ボリビアーノになる。サンタクルスでも児童労働は「問題」だと考えている。しかし簡単に、禁止するわけにもいかないのだ。子供たちの稼ぎは、家々の生計を支えている。子供たちから仕事を取り上げれば、生活していけない家族らが続出するのだ。

2001年の調査では、サンタクルスで働く7~18歳の子供たちは51万4千人。このうち4万8千人は、肉体労働に就いている。こうした子供たちの支援団体も各地で組織され、さまざまな支援や援助がなされている。しかし全ての子供たちに、ケアが行き届くわけではない。仕事をする子供たちの57%は、路上生活を送っているとのデータもある。

国連機関のデータでも、南米ではボリビアはエクアドル、ペルーと並び児童労働が多い。ボリビア政府やサンタクルス県も、子供たちへの教育が重要だと考えている。しかしながら、国や行政がこうした家庭を支えきれぬわけではない。結局は、子供たちの手がその家庭、家計を支えているのだ。

サンタクルズの地方紙「El Deber紙」2007.07.23記事より

- 5 児童労働が引き起こす問題について、考えてみましょう。

★グループで考える手順

- ① 4~5人のグループを作ります。
- ② 模造紙の真ん中に、「児童労働が引き起こすもの」と書き、丸で囲みます。
- ③ 児童労働のためにどんなことが起こるか、想像して真ん中の円から矢印で外に書きだしていきましょう。できるだけたくさん、書き出すようにします。(下の図を参考に)
- ④ 書き出したものからさらにどんなことが起こるか、どんなふうにつながっていくか、考えてどんどん付け足していきましょう。
- ⑤ 他のグループの図を見て回り、結果を共有しましょう。
- ⑥ 自分たちでやってみて、また、他のグループの図を見てみて、感じたこと、気付いたこと、感想を話し合しましょう。



- 6 児童労働をなくすために何ができるか、みんなで考えてみましょう。模造紙を半分に仕切り、左側に自分や自分たちにできることを、右側に日本にできることを考えて、グループでできるだけたくさん書き出しましょう。

「子どもの権利条約」チェック！！

守られていると思うものには○を、守られていないと思うものには×をつけましょう。

条（抜粋）	内 容	わたしや 日本	ボリビアの 事例
(2) 差別の禁止	子どもは、国のちがいや、男か女か、どのようなことばを使うか、どんな宗教を信じているか、どんな意見をもっているか、心やからだに障害があるかないか、お金持ちであるかないか、などによって差別されません。		
(6) 生きる権利・ 育つ権利	すべての子どもは、生きる権利をもっています。国はその権利を守るために、できるかぎりのことをしなければなりません。		
(9) 親と引き離れ ない権利	子どもは、親といっしょにくらす権利をもっています。ただし、それが子どもにとってよくない場合は、はなれてくらすことも認められます。はなれてくらすときにも、会ったり連絡したりすることができます。		
(12) 意見を表す 権利	子どもは、自分に関係のあることについて自由に自分の意見を表す権利をもっています。その意見は、子どもの発達に応じて、十分考慮されなければなりません。		
(16) プライバシー ・名誉は守ら れる	子どもは、自分のこと、家族のくらし、住んでいるところ、電話や手紙など、人に知られたくないときは、それを守ることができます。また、他人から誇りを傷つけられない権利があります。		
(26) 社会保障を受 ける権利	子どもやその家族が生活していくのに十分なお金がないときには国がお金を払うなどして、暮らしを手助けしなければなりません。		
(27) 生活水準の 確保	子どもは、心やからだのすこやかな成長に必要な生活を送る権利をもっています。親（保護者）はそのための第一の責任者ですが、親の力だけで子どものくらしが守れないときは、国も協力します。		
(28) 教育を受ける 権利	子どもには教育を受ける権利があります。国はすべての子どもが小学校に行けるようにしなければなりません。さらに上の学校に進みたいときには、みんなにそのチャンスが与えられなければなりません。学校のきまりは、人はだれでも人間として大切にされるという考え方からはずれるものであってはなりません。		
(32) 経済的さく取 ・有害な労働 からの保護	子どもは、むりやり働かされたり、そのために教育を受けられなくなったり、心やからだによくない仕事をさせられたりしないように守られる権利があります。		
(35) 誘拐・売買か らの保護	国は、子どもが誘拐されたり、売り買いされたりすることのないように守らなければなりません。		



子どもの権利条約 (日本ユニセフ協会、外務省 HPより) [P.21の1]

「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。18歳未満を「児童(子ども)」と定義し、国際人権規約(第21回国連総会で採択・1976年発効)が定める基本的人権を、その生存、成長、発達の過程で特別な保護と援助を必要とする子どもの視点から詳説。前文と本文54条からなり、子どもの生存、発達、保護、参加という包括的な権利を実現・確保するために必要となる具体的な事項を規定しています。1989年の第44回国連総会において採択され、1990年に発効しました。日本は1994年に批准しました。

子どもの権利条約が定める4つの大切な権利

この条約は大きくわけて次の4つの子どもの権利を守るように定めています。そして、子どもにとっていちばんいいことを実現しようとしています。

生きる権利

防げる病気などで命をうばわれないこと。
病気やけがをしたら治療を受けられることなど。

育つ権利

教育を受け、休んだり遊んだりできること。
考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができることなど。

守られる権利

あらゆる種類の虐待(ぎゃくたい)や搾取(さくしゅ)などから守られること。
障害のある子どもや少数民族の子どもなどは特に守られることなど。

参加する権利

自由に意見をあらわしたり、集まってグループをつくったり、自由な活動をおこなったりできることなど。



締約国・地域は…

193の国、地域がこの子どもの権利条約を批准、加入、継承しています。
これらの国が負う義務は、条約を批准してから2年以内、その後は5年ごとに、各国は国連の「子どもの権利委員会」で国内の子どもの権利を守る取り組みについて報告を出すことです。

ボリビア政府に対する勧告 [P.21の3]

国連子どもの権利委員会が1月に行なった勧告の一つとして、最悪の形態の児童労働(子どもの健康・安全・道徳を害し、心身の健全な成長を妨げる危険で有害な労働)撲滅行動計画の制定が勧告された。委員会は、子どもの性的経済的搾取と人身売買を犯罪行為として位置付け、これらの犯罪を受けた子ども達を犯罪被害者として扱い、また加害者を起訴するよう勧告した。加えて委員会は、ストリートチルドレンの支援、禁固に代わる刑罰の整備、青少年の服役環境の改善、国連国際組織犯罪条約「人身取引」(人の密輸)補足議定書の批准を求めた。

<2005 アムネステイ 報告書より>

どうして子どもが働かなくてはならないの? [P.22の4]

児童労働の最大の原因は貧困

生活するのに必要なお金を親がかせぐことができない家庭では、子どもが働かざるをえません。親の仕事が季節に左右されて収入が安定しなかったり、親が病気で働けなかったり、失業していたり、という理由で家族が子どもの収入をあてにして生活しているのです。

社会的基盤が整っていない

きれいな水が確保できなかったり、保健や医療、教育などの社会サービスを受けられなかったりすると、生活はますます貧しくなります。多くの国では水くみは、たいてい子どもや女性の仕事です。遠くの川や池まで毎日水を何度も汲みに行くために、学校に通う時間がない子どももいます。また、世界の人口の40%の人びとにはトイレなど基本的な衛生施設がありません。そして、10億人が安全ではない水を日々の生活に使っています。病気になっても、病院が近くになければ、医者にかかることもできません。

➡ P.27につづく

フェアトレードって知っていますか？

 ポリビアとチョコレートとフェアトレードの関係を探ってみましょう。



甘くて香りがよくて、子どもだけでなく大人にも人気のあるお菓子。でも、今回は、そのチョコレートを生産している、地球の裏側の国について考えてみましょう。

① ではまず、あなたはチョコレートのことをどれだけ知っていますか？
いくつかのクイズに挑戦してみましょう。

① チョコレートの原料であるカカオ。世界で一番生産量が多い国は、次のうちどれでしょう？

A ガーナ B ポリビア C コートジボアール D インドネシア E ナイジェリア

② では逆に、世界で一番、一人当たりのチョコレート消費量が多い国はどこでしょう？

A アメリカ B 日本 C ドイツ D スイス E ベルギー

③ カカオの樹は、幹に実がなる。○でしょうか、×でしょうか。

④ (この答には正答はありません) あなたは、おやつを選ぶ時に、どんな基準で選びますか？
また、それはなぜですか？ Dのその他とこたえた人は、それは何ですか？

A 値段(安さ、量) B 味、おいしさ C キャラクターやCM D その他

② では、チョコレートがカカオとして収穫されてからのルートをみんなでたどってみましょう。
これから行うグループ作業の手順は次の通りです。

① 4~5人のグループになりましょう。

② カカオが収穫されてから、私たちの口に入るまで、どんな人が関わっているか、考えてみます。こういった仕事をする人が関わると言うものを、B5用紙1枚に1項目、できるだけたくさん書いていきましょう。例えば、カカオを採る人、港まで運ぶ人、日本で売る人、といった具合です。

③ さらに、もっとどんな人が関わっているか考えます。例えば、チョコレートにはカカオ以外のものも入っていますよね。包装はどうしますか？宣伝はどうしますか？ どんどん考えていきましょう。

④ 出てきた項目を壁に貼っていきましょう。一番左端がポリビアのチョコレート農家、一番右端が日本の私たちです。

⑤ 貼られた結果を見て、思ったこと、感じたこと、気づいたことを発表しましょう。

③ 生活に必要な賃金を保証することによって、立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す運動として、フェアトレードというものがあります。インターネットなどを使って、調べてみましょう。



P.25のこたえと解説です。



身近にできる国際協力である「フェアトレード」について知り、南の国と北の国とのよりよい関係を考えるきっかけとする。

1

① **C** コートジボアール

2006年の統計ではコートジボアールが生産量1320tで断トツの1位です。以下、2位ガーナ(550t)、3位インドネシア(445t)、4位ナイジェリア(200t)、5位カメルーン(190t)、6位ブラジル(170t)。ちなみにボリビアは2.4t。なお、日本が一番多く輸入している相手国はガーナです。

② **C** ドイツ

年間一人当たり11.1kgを食べています。以下2位はスイス(10.8kg)、3位オーストリア(10.1kg)、4位ベルギー(9.5kg)、イギリス(9.4kg)です。日本は2.2kgとなっています。

③ **O**

カカオの樹は枝だけでなく、幹にも実のなるちょっと風変わりな樹です。カカオの樹は常緑樹ですが年間を通じて落葉し、半日陰を好みます。直射日光にさらされて、蒸発が強くならないようにする必要があり、カカオの樹の周りにはシェードトリーといわれる覆いとなる樹を植えているのが多く見られます。生長すると、高さは7~10メートル、幹の太さは10~20センチになります。



カカオの樹

② ボリビアの「作る人」から日本の「買う人」の間には、実に多くの方が介在しています。「買う人」が日本で払った代金のうち、どれくらいがボリビアの「作った人」の手元に届くのでしょうか。チョコレートの場合、砂糖やミルクなど様々な物が加えられて加工されるので数値的には出てはいないのですが、同じように輸出中心の作物として作られているバナナの場合で30分の1以下、コーヒーに至っては70分の1以下しか、「作った人」の手元には渡りません。また、一番多く(90%以上)取り分が渡るのは日本や米国など、輸入した先進国側といわれています。

フェアトレード(公平貿易、公正取引)とは・・・

開発途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することによって、生産者の持続的な生活向上を支える仕組みです。主な品目としてコーヒー、バナナ、カカオのような食品、手工芸品、衣服があります。

フェアトレードは、私たち消費者が自分の気に入った商品を購入することでできる身近な国際協力のかたちなのです。この方法なら、援助する側の負担も少なく、無理なく継続的な援助ができる、と考えられます。オルタナティブ・トレード(Alternative Trade)とも言います。フェアトレードの目的は、途上国の立場の弱い人々の自立と生活環境の改善を目指すこと。そのために、IFAT(国際フェアトレード連盟)は以下の基準を設けています。

1. 生産者に仕事の機会を提供する
2. 事業の透明性を保つ
3. 生産者の資質の向上を目指す
4. フェアトレードを推進する
5. 生産者に公正な対価を支払う
6. 性別に関わりなく平等な機会を提供する
7. 安全で健康的な労働条件を守る
8. 子どもの権利を守る
9. 環境に配慮する
10. 信頼と敬意に基づいた貿易を行う

児童労働との関連では・・・

フェアトレードの目的の一つに、子どもの権利を守ることが掲げられています。

同時に地域の産業育成や子どもの教育も支援しています。つまり、フェアトレード商品は、「児童労働のない」商品といえます。視察による検査をパスした商品には右のようなフェアトレード・ラベルが付けられます。フェアトレード・ラベルの認証団体は児童労働がないことなど、多くの国際フェアトレード基準をもとに点検を行い、責任を持って認証を行っています。





ボリビアのカカオ(ココア)生産者「エルセイボ」の取り組み

エルセイボがあるのは、ボリビア北部のアルト・ベニ地方。ボリビアに限ったことではありませんが、こうした協同組合ができる前までは、輸送手段や販売ノウハウのない農民は、仲買人に作ったカカオを売らざるをえませんでした。足元を見た仲買人は、カカオを買い叩きます。生産過剰による国際価格の低迷もその背景にはありました。

エルセイボは、そんな仲買人を通さずに、自分たちの力で生産物を都市に出荷することで、農民たちの利益を守るために、680件の農家により77年に結成されました。「エルセイボ」と言う名前は、この地方に生育するたいへん生命力の強い木にちなんでつけられました。切り倒されても新たに根を張り、芽を出し続けるこの木のように、自分たちの組織も絶対に死なないという強い意志を示したのです。

アルト・ベニ地方は、標高400mの肥沃な土地です。60年代に入植が行われ、土地のやせた高地などから多くの人びとが活路を求めてこの土地に入植してきました。農民たちは、政府が経営する組合に加盟しなければなりませんでしたが、ほどなくしてこの組合は、倒産してしまいます。農民たちは何の販売手段も販売のためのノウハウもない状態で放り出されました。

特に問題だったのが、標高3800mの高地にあるこの国最大の商都ラパスまでの260kmの道のりを収穫したココアを運ぶ手段がないことです。農民たちは、買い付けにやってくる仲買人にカカオを売るしかありません。農民たちの足元を見て、また農民が市場価格や商売のことを知らないのをいいことに、仲買人たちはカカオを安く買い叩きます。お金の代わりに他の作物で支払ったりすることもありました。

そこで農民たちは、共同でトラックを購入し、自力で各農家からカカオを集荷(各農家を回って荷物を集めること)してラパスまで出荷できるよう、組合を結成したのです。

エルセイボは、同様の協同組合の中で、最初にオーガニック農法に転換した団体です。もともと肥沃な土地なので、化学肥料や農薬は必要ありませんでした。88年には、ヨーロッパのオーガニック認証団体の申請を始め、現在は65パーセントの生産物が、オーガニックとして認定されています。

カカオ農家間では、カカオ栽培に関する知識や技術を分かち合い、生産性や品質向上を目指しています。エルセイボの技術者も定期的に各農家を訪問し、技術的なアドバイスやオーガニック農法の管理・監督を行っています。

環境と共存する持続可能なオーガニック・

カカオ栽培のさらなる拡大を図るため、エルセイボでは新規オーガニック農家の参入も積極的に促進しています。



どうして子どもが働かなくてはならないの？ [P.24のつづき]

法律が整備されていない/または法律があっても守られない

ほとんどの国では、児童労働が法律で禁止、または規制されています。しかし、その法律が知られていない、破っても処罰がない、労働監査官がワイロをもらってチェックがまともにされていない、という状況の国もあります。

子どもの身体を買うおとなたち

子どもを性的な対象とし、子どもを買って性的虐待を加えたり、ビデオや写真に撮ったりして販売する行為が行われています。残念ながら、日本でも多くの大人が児童買春のために東南アジアに出かけています。

途上国に不利な貿易の仕組み

児童労働が一番多く見られるのが農業です。途上国の農業では、コーヒー、バナナ、カカオ、パームヤシなど、先進国向けの換金作物が栽培されることがあります。これらの作物は輸出用であり、値段も安く抑えられています。現在の貿易の仕組みでは、途上国の労働条件や賃金は低いまです。そのため、より安い労働力として、子どもたちが大量に使われています。

教育を受けられない子どもたち

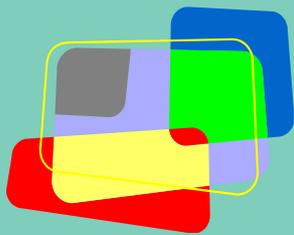
世界には学校に行けない子どもが約1億1500万人いるといわれています(ユニセフ 世界子ども白書2006より)。学校に行けない理由は、家が貧しくて学校に通う費用がだせない、近くに学校がない、卒業後の仕事がないので学校に行っても意味がない、学校に行くより働く方がお金になる、等の理由です。また、教育を受けられない子どもの約4分の3は女子です。多くの地域で、女子には教育の必要がない、と考えられているからです。

日本との関係

児童労働は、私たち日本人とは無関係な遠い途上国だけの問題なのでしょうか。食糧自給率40%の日本は、多くの農林水産物や加工品を世界中から輸入しています。これらの商品の中には、児童労働によって支えられているものも、多くあるのです。品物を選ぶこと、買うことで、児童労働に荷担しているといってもよいのです。

 第4章

そして未来へ



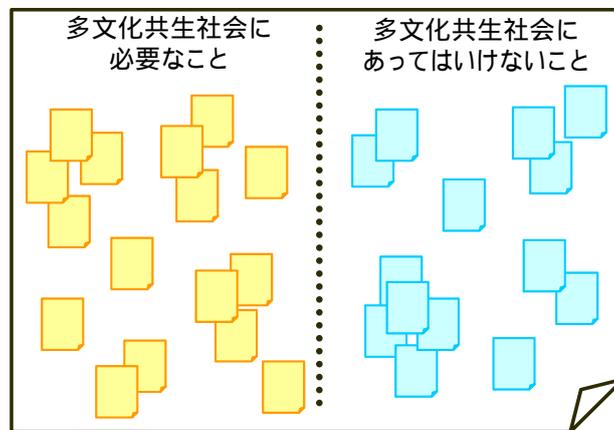
『多文化共生社会』ってどんな社会？

① 地球のみんなが一緒に生きていくということは
どうのことなのでしょう？



- ① みなさんは、『多文化共生社会』ということばを聞いたことがありますか？
「多くの文化が共に生きる社会」というのは、いったいどんな社会でしょう？
「多文化共生社会に必要なこと」を黄色い付箋紙に、「多文化共生社会にあってはいけないこと」を青い付箋紙に書き出してみましょう。付箋1枚に1項目ずつ、できるだけたくさん書いてみてください。

- ② 4～6人のグループに分かれましょう。
各グループで模造紙を用意し、半分に区切ります。左側には「必要なこと」、右側には「あってはいけないこと」を貼っていきます。みんなの意見を共有するために、1人ずつ読み上げながら貼ってください。また、他のメンバーが似たようなものを貼った時はその近くに貼ってください。



- ③ 模造紙にまとめたことをもとにグループで「多文化共生社会とは……な社会」という文章をつくってみましょう。

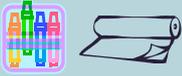
- ④ では、そんな社会を実現するために、私たちにできることは何でしょう？
一人ひとり、A4の紙に「私たちにできること7か条」を書いてみましょう。

- ⑤ 一人ひとりがつくった7か条をもとに、グループで「多文化共生社会を実現するための7か条」にまとめ、右のように模造紙に書いてみましょう。

- ⑥ 全員で発表し、感想を話し合しましょう。

多文化共生社会とは	
な社会	
そんな社会を実現するための7か条	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	

号外！号外！20年後の新聞です



20年後の地域と地球はどうなっているでしょう？
どうなっているといいでしょう？

みなさんは新聞記者です。20年後の明日発行する新聞記事を書いているところです。
20年後はどんなニュースが新聞に載っているでしょうか？だれにでもわかりやすいことばでまとめてみましょう。

- 1 まずは、グループで新聞名を決めましょう。
模造紙を横にして半分に区切り、
新聞名と日付を書き込みましょう。

20xx年 月 日	20xx年 月 日

新聞

- 2 20年後地域と地球がこんな風になっている
といいなと思うことを想像し、ニュース記事に
まとめてみましょう。模造紙の右半分に地域のニュースを、左半分に地球のニュース(あるいは、ボリビアの
ニュース)を書きます。

- 3 全員で発表し、感想を話し合ってみましょう。

- 4 さて、今の生活を続けていったとき、ニュースにまとめたような地域や地球が実現できると思いますか？
実現するために、自分がやろうと思うことを1つ決めて、グループで共有しましょう。

多文化共生社会

1990年の入管法改正により、主に南米からの日系人が多く日本に住むようになりました。近所や学校、職場に外国籍の方がいるのがあたりまえの状況の中でことばの問題、文化・生活習慣の違いからくるトラブル、子どもたちの教育問題、近年の経済悪化による雇用の問題などさまざまな課題が生じています。そうした課題に取り組む中で目指しているのが、「多文化共生社会」の実現です。この「多文化共生社会」とは、「国籍にも、性別にも、年齢にも、障害の有無にも関わらず、すべての人が暮らしやすい社会」と位置づけられています。愛知県が2008年にまとめた「多文化共生推進プラン」では、愛知がめざす多文化共生社会を「国籍や民族などのちがいにいかかわらず、すべての県民が互いの文化的背景や考え方などを理解し、ともに安心して暮らせ活躍できる地域社会」としています。そうした社会を実現するために、2006年には、総務省から各自治体に向けて「地域における多文化共生推進プラン」が出されました。その中では、特に外国籍住民も暮らしやすい社会を創るために、次のようなことに取り組んでいくと書かれています。

コミュニケーション支援

多言語による情報提供、相談窓口の設置、日本語学習の支援など

生活支援

入居差別の解消、教育にかかる情報提供、進路指導、就業支援、就業環境の改善、外国語対応可能な病院・薬局等の情報提供、医療通訳者の派遣、健康診断・健康相談の実施、高齢者や障害者への対応、災害時の通訳ボランティアの育成、災害時の情報の多言語化など

多文化共生の地域づくり

地域住民への啓発、多文化共生の拠点づくり、外国籍住民の地域社会への参画推進など

地球的課題(グローバルイシュー)

一国では解決することが難しい、人類共通の課題を「地球的課題」「地球規模の課題」「グローバルイシュー」といいます。大きく分けると4つ、これらの課題は、包括的かつ相互的に関連しています。

地球環境

先進国の経済成長などに伴うオゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨、砂漠化、海洋汚染、ごみ問題、野生生物の絶滅など地球規模で発生している課題です。

貧困と開発

南北問題に伴う貧困、それによる食糧不足、飢餓、衛生面での問題、教育の問題、児童労働など子どもや女性など弱者にかかる問題、持続可能でない開発による環境破壊など、地球規模の構造的な課題なので、途上国だけでは解決できません。

平和と安全

核兵器や生物化学兵器など、国境に関係なく被害を及ぼす兵器の根絶、テロの問題、地域紛争の解決と平和維持、児童兵士の問題などです。

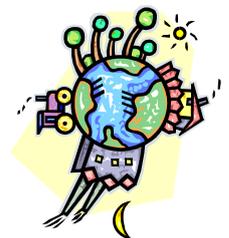
人権

民族差別や紛争などにおける難民の問題、貧困と開発のために過剰な労働を強いられる女性や子どもの問題、人間として最低限必要なものさえ保障されない極度の貧困の問題などです。

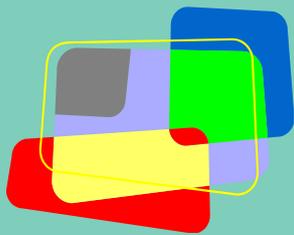
地域の課題と地球の課題はつながっている ~「持続可能な」社会を創るため~

地域の課題と地球の課題は別のもと考えてしまいがちですが、だれもが暮らしやすい「持続可能」な社会を創るという意味では共通しています。また、地域の課題を解決していけば地球の課題の解決にもつながりますし、地球の課題を解決しなければ、地域の未来もないのです。

地域の課題も地球の課題も「だれかが解決してくれる」ものではありません。途上国の多くの課題も原因を突き詰めていけば、わたしたちの日常生活につながってきます。わたしたち一人ひとりが地球の一員として、地域の一員として、自分の問題として、解決に向けて取り組んでいかなければ、次世代に課題を持ち越してしまうことになるのです。



参 考 资 料



目で見るボリビア



国旗の赤は動物、黄は鉱物、緑は植物資源の多いことを示しています。紋章には、『自由の帽子』、コンドル、アルパカ、パンの木、ポトシの山、それにボリビアの9地方を表す9つの星などが描かれています。1888年の法律で制定されました。

●人口●

 1,002万人(2007年 国家統計局)



 128百万人



●面積●

 1,100,000km²
(日本の約3倍)

 377,887km²



●言語●

スペイン語
(他にケチュア語、アイマラ語)

●宗教●

国民の大多数
(95%以上)は
カトリック

●気候帯●

アマゾン低地: 熱帯サバナ気候
アンデス高原: 高山気候

●通貨●

ボリビアーノ

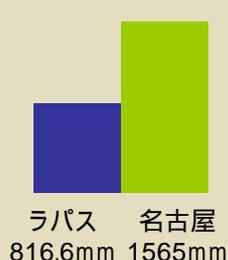
●民族●

欧州系 13%
先住民 55%
混血 32%

●平均気温●

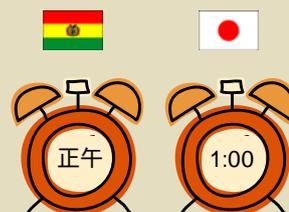


●年間降水量●



●日本との時差●

- 13時間



国旗: 『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken) 人口・面積・首都・民族・通貨: 外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」
日本の人口: 世界子供白書2008(ユニセフ) 日本の面積: 総務省統計局「日本の統計」
言語・日本との時差: 世界の国一覧表(財団法人世界の動き社)

●主要産業●

鉱業(亜鉛、鉛、金)
農業(大豆、木材、砂糖)



●日本との貿易主要品目●



亜鉛鉱、鉛鉱、ごま、大豆、ニット製品



自動車:自動車部品、電気機器
一般機械、化学製品

●一人あたりのGNI●

 1,100米ドル(2006年世銀)



 38,410米ドル(2006年世銀)



●在留邦人数●

2,716人(2007年10月)



●移住者・日系人●

11,350人(推定)

●出生時の平均余命●

 65年

 82年



●都市人口の比率●

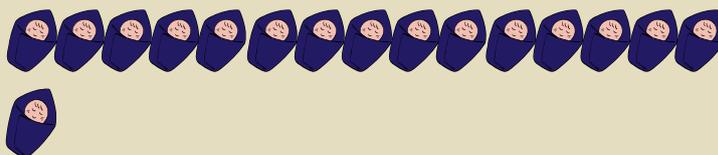
 65%(2006年)

 66%(2006年)



●5歳未満児の死亡者数●
(出生1000人あたり)

 16人(2006年)



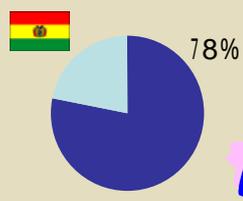
 4人(2006年)



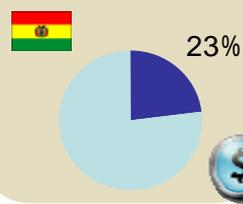
●成人の総識字率●
(2000~2005年)



●初等教育純就学/出席率●
(2000~2006年)



●1日1ドル以下で暮らす人の比率●
(1995~2006年)



●人口増加率●
(1990~2006年)

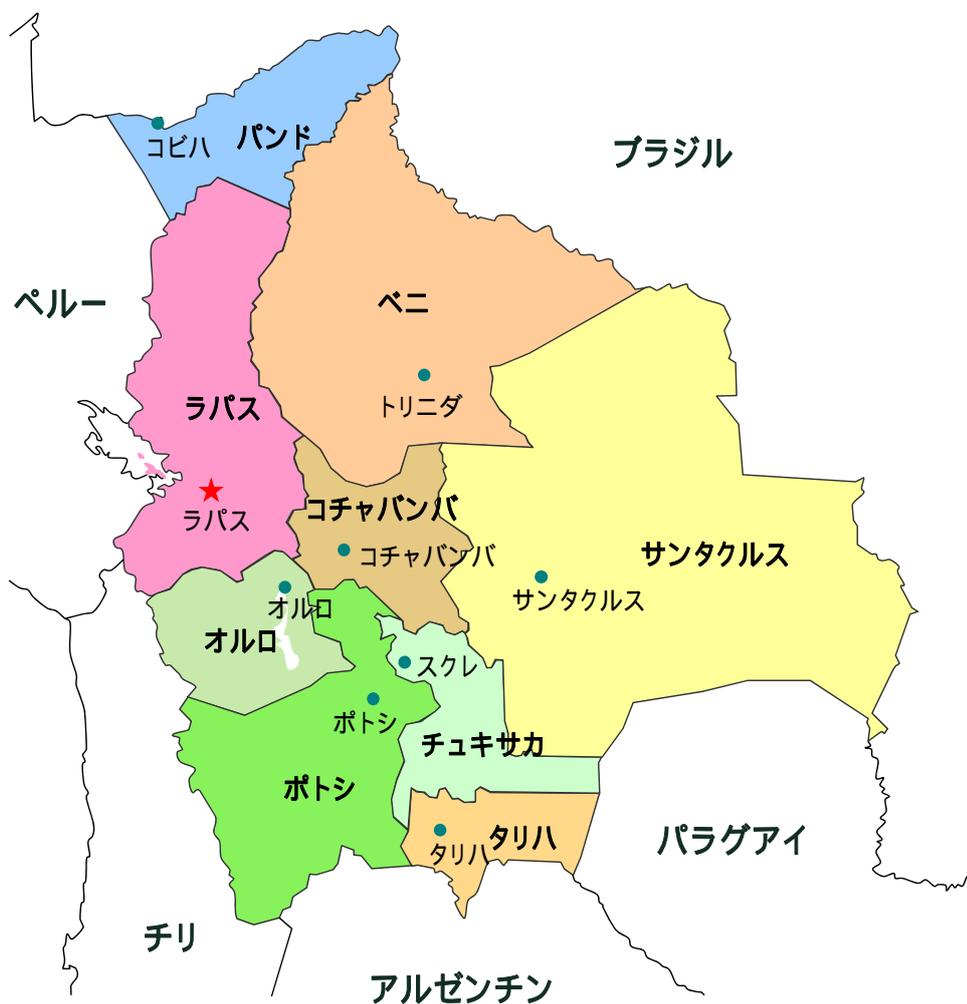
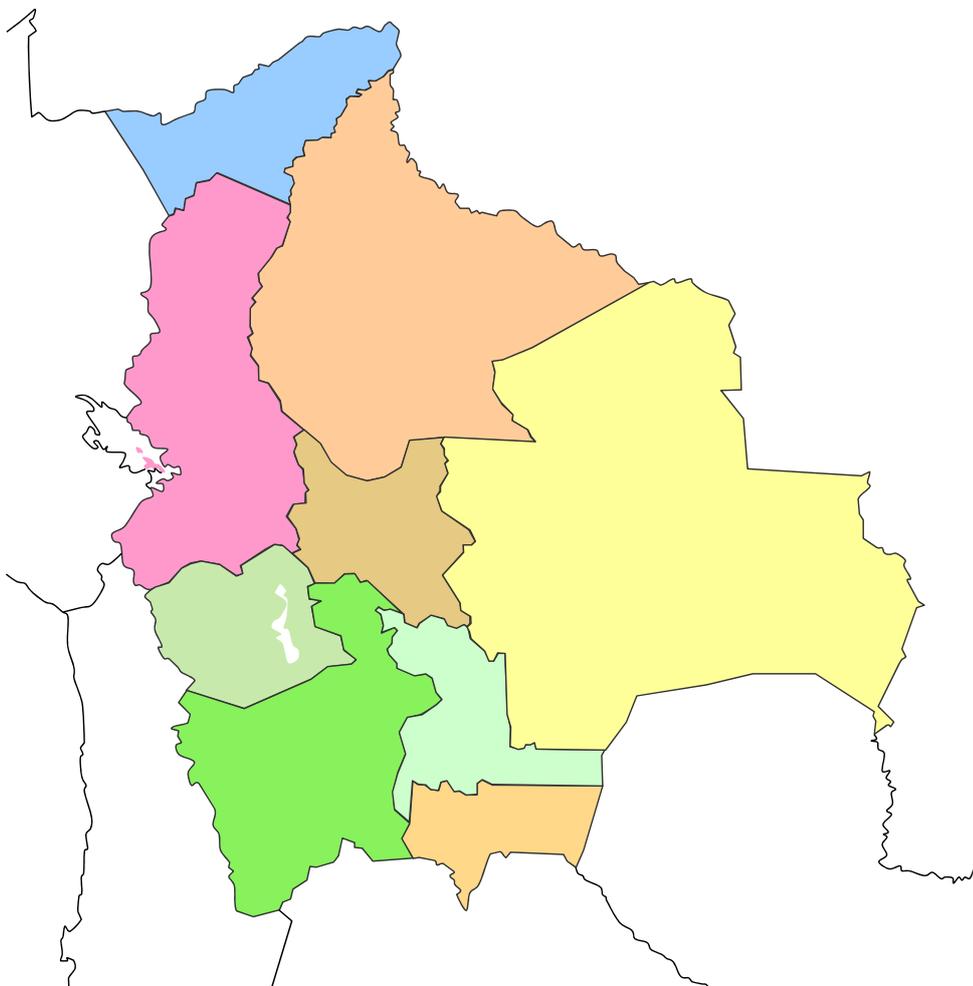
 2.1%

 0.2%



主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・移住者・日系人数:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・1日1ドル以下で暮らす人の比率・成人の総識字率・初等教育純就学/出席率:人口増加率:世界子供白書2008(ユニセフ)

ボリビア地図





参考文献・データ等の出典

外務省「各国地域情勢」「探検しよう! みんなの地球」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>
 総務省統計局「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
 総務省統計局「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
 財団法人日本ユニセフ協会 <http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
 ポリビア日系協会 <http://www.fenaboja.com/>
 (社団法人)日本ポリビア協会 <http://www.nipponbolivia.org/tapa.php>
 ポリビア共和国大使館 <http://www.embabol.jp/>
 ポリビア日系協会連合会 <http://www.fenaboja.com/>
 沖縄大学緒方ゼミ <http://www.okinawa-u.ac.jp/~ogata/flash/flash.html>
 フェアトレードショップ「ふえあういんず」 <http://fwinds.jp/>
 エルセイボ <http://www.elceibo.org/jp/index.html>
 アムネスティ2005年報告書
 「チョコレートの真実」(キャロル・オフ著 英治出版)
 「わたし8歳、カカオ畑で働きつづけて」(ACE 著 合同出版)

ご協力いただいた方たち【敬称略】

中西あい	田中千賀子
坪井 彩	滝 栄一
吉岡嗣晃	加藤理香子
久世治靖	



2008年度教材作成チーム

一宮市	田原市
長久手町	幸田町
扶桑町	

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
 財団法人 愛知県国際交流協会

世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 **ポリビア共和国** 

2009年3月

発行 愛知県

**企画
編集** 財団法人 愛知県国際交流協会
 〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
 あいち国際プラザ

TEL:052-961-8746 FAX:052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷 サンメッセ株式会社



